

建設コンサルタント業務等における低入札価格調査制度の改正について（お知らせ）

平成29年4月15日以降に入札公告又は入札執行通知を行う業務から、以下のとおり低入札価格調査制度の取扱いを改めることとしました。

改正の目的

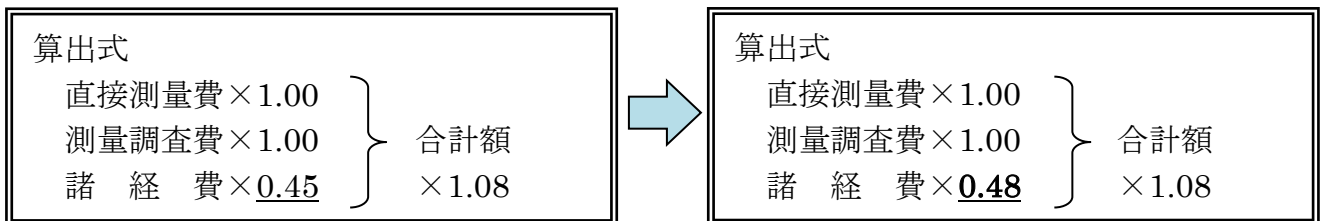
測量設計業界においては、設計品質の確保が公共工事の品質確保を図る上で重要な役割を果たすことから、その担い手が中長期的に育成及び確保されるための適正な利潤確保ができるよう、実効あるダンピング対策の充実を図ることを目的に改正を行うものです。

改正の内容

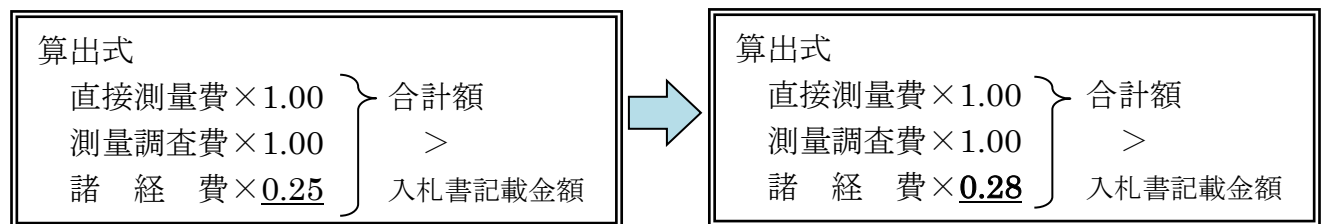
品質確保の観点から、低入札調査基準価格及び失格判断基準価格における諸経費及び一般管理費等を引き上げます。

①【測量業務】

<低入札調査基準価格>（予定価格の60%～80%の範囲内で設定）

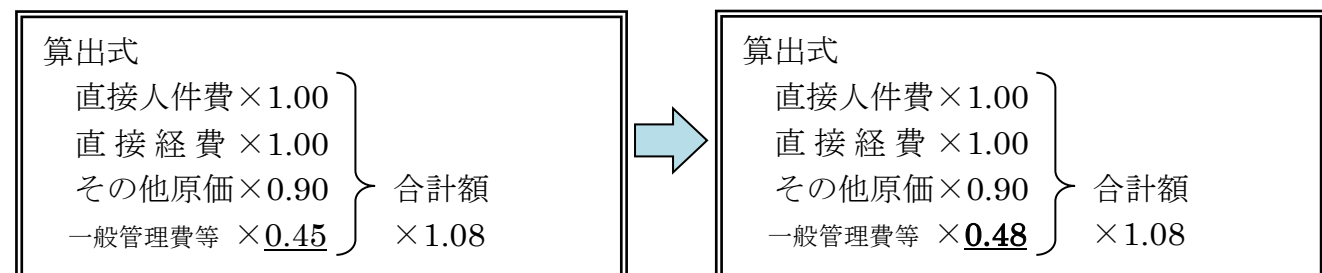


<失格判断基準価格>（予定価格の60%～80%の範囲内で設定）

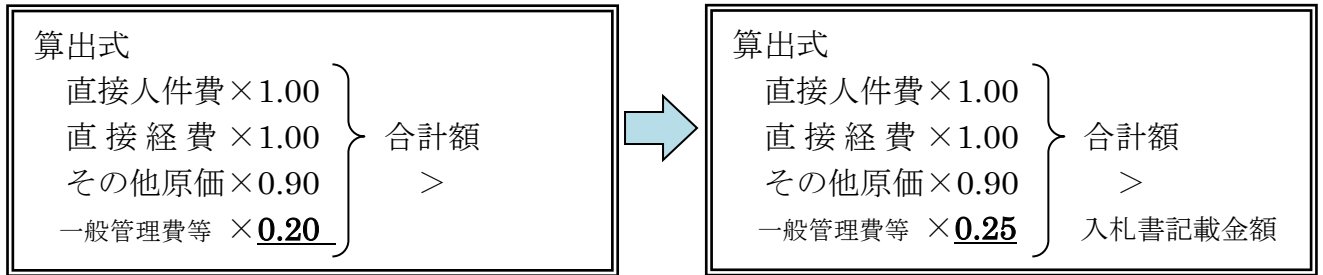


②【土木関係の建設コンサルタント業務】

<低入札調査基準価格>（予定価格の60%～80%の範囲内で設定）



<失格判断基準価格> (予定価格の60%~80%の範囲内で設定)



なお、今回「建築関係の建設コンサルタント業務」、「地質調査業務」及び「補償関係コンサルタント業務」の改正はありません。